

# 福 新 聞

(毎月十頁) 一回  
 定價一紙十錢 壹ヶ月廿錢  
 廣告料 報費別定  
 發行所 福新新聞社  
 市島 三

ハリスク  
 局藥邊野山  
 目丁五町平

## 得手? 勝手?

(寄) 北山 茂樹

我が愛する町の町會議員様  
 は則ち三十名あるが、其色  
 別を大區分すれば政友派が  
 十八名、民政派十二名とす  
 る、更に小分せば政友會は  
 三ツ團體民政黨は本性と異  
 性である、正義派、非正  
 義派、所謂野崎君對萩原君  
 である。  
 是等三十名の町議諸君が下  
 ニウ工合に當選の光榮に  
 浴したかと申せば「私達  
 は三萬町民の公僕として大  
 平市建設の礎を建て、町民  
 の幸福とを祈るものである  
 と」  
 町會議員様に成つたからと  
 申して肩で風を切つて安藤  
 様の御城下の天下の公道を  
 狭しと御潤歩召さるゝも、  
 所謂得手? 勝手?  
 町會議員様だから御構ひは  
 ないでせうが、町費の削減  
 町財政の克明なる対策、上  
 水道擴張問題、下水道の完  
 備、小公園の建設、賦課公  
 平、有閑富豪征伐談等々で  
 あらう。  
 ダガ龍頭蛇尾の仕事光榮  
 此事の至りとする、譯けで  
 もあるまいが。  
 神聖たるべき町自治体の決  
 議を以て確定した電燈値下  
 問題、是れは龍頭蛇尾の好  
 問題、是れは龍頭蛇尾の好

標本で得手勝手よりよき  
 サンプルであらうして何で  
 であらう?  
 一体町政審議會なんて〇〇  
 して、人格と手腕と力量と  
 民衆的人氣を地に墮せしめ  
 たる誰れか屋上屋を造る時  
 代錯誤の人物もあるから行  
 政事務の合理化などなど  
 は、夢の夢であるさ。  
 出る釘は打たるゝ例もあり  
 ませうと自己の天分を自覺  
 せざるも、決して賞めた藝  
 以上のように代表者である  
 の公人とも申す誤榮來人の  
 やる仕事は問題とは成らぬ  
 成る筈だよ已に魂が何處の  
 除かに潜在してゐる町議諸  
 君も新事業に着眼せず得  
 勝手な事を申さず少し  
 整理する事か第一肝要で  
 あります。

## 町政審議流産で 萩原派味噌をつける

野崎派の勢力は 却つて有利に展開

既報平町會の五派中政友系  
 の交友一新、中正三派十八  
 名が廿五日夜三益の會合に  
 依つて問題の町政審議會は  
 遂に萩原氏等反野崎系の民  
 政側の策動も晝餅に歸した  
 が、この町政審議會が流産  
 となつた結果は政友三派を  
 町政刷新の名で一層結束を  
 固めさせたばかりでなく從  
 來野崎氏一派よりは萩原氏  
 一派に好意を有してゐたか  
 に見えぬ井上氏を中心とす  
 る交友會派六名一新會中正

深謀遠慮ありと言はれ秋て  
 原氏も今度ばかりは完全に  
 失敗した形で今後如何にし  
 てるか。(民報轉載)

## 治療費の考察

診療料と薬價  
 (一) 診察料と薬價  
 一体醫師は、診療料を請求  
 しなければならぬもので、  
 患者も之れを支拂ふのが  
 本當であります。

(二) 不當なる現在の醫師利益  
 吾人は大衆の味方として復  
 た正論として高唱主張する  
 ものは則ち、確定されたる  
 醫師團體の往診料、診察料  
 報酬、薬價是れに附帯せる  
 一切の費用を明瞭に而して  
 實費的に徴收せんとする多  
 くの良心ある諸君を希望す  
 るものであります。但し、現  
 在の戦亂當時の夫れに比し  
 其診察の報酬迄も加算され  
 て居るのではないとも思は  
 して居るのであります。

(三) 四聞八觀  
 祖、唯一の野黨政友會棟  
 梁犬養閣下以下總動員大  
 學遊演を企つたは、公黨  
 酷暑三伏の苦痛と、公黨  
 面目論とは併有せる避暑  
 團なりと見做すも非なら  
 ざると  
 ▲國民の生活を度外視して  
 黨略本位の空遊説では何  
 等の反響あるまい  
 ▲牢押たる大政黨の眞價を  
 發揮せしむるに足る力量  
 を以て前進せよ  
 ▲舊套を脱し得ぬ政友會が  
 如何に笛を吹けども冷熱な  
 る國民は、決して踊る事  
 なきものと諦めよ  
 ▲組閣一ヶ年にして、現内

縣下藥劑師會  
 十三日白河町に於て  
 福島縣藥劑師會第五定期總  
 會は來る十三日午後一時  
 河町公會堂に於て開催す  
 る。決算報告其他業界一般の  
 運動經過等の報告役員の改  
 選等々當地方より山野邊東  
 氏山野邊東氏山野邊東氏  
 氏外三四名出席の筈。

から診察料、薬價、報酬  
 大れまでなくとも、他の  
 當の如きものを今少しく低  
 廉に徴收する事に深甚なる  
 考察を下して然るべきであ  
 ると信じます。  
 殊に診察料外に方外なき車  
 ば賃を患者より要求する如  
 きは正に時代錯誤と謂ねば  
 なりません。  
 現今の農村と彼の黄金の波  
 斯に眺めて、獨に喜悅と享  
 の夢を見たる過去の大景氣  
 と現下不景氣とを比較對照  
 せば醫師諸君も相當に、考  
 慮する餘地が當然に發見し  
 得るものと信ずるのであり  
 ます。  
 (二) 則ち現在の醫師制度の整  
 理の斷行は所謂醫藥分  
 業の實現に依つて解決す  
 るものであります。(以下次號)

石城民政黨の某幹部最近  
 頗る人氣惡し、鉛に金の  
 渡金は剥けたりか鉛は鉛  
 の價値と諦めて暮せ  
 ▲人を禱らば穴ニツの悲運  
 と、不遇の巻を逢ふ醜き  
 殘骸を晒すとは痛快

# 相競ふ武者千騎 拾餘萬人

## 相馬の野馬追大祭

### 宛ら元龜天正の繪巻

#### 来る十一日から三日間の催し

相馬通信古来の甲冑騎馬武者群の出動で天下の奇観といはるゝ相馬追、本年の大祭は来る十一日から三日間、福島縣相馬郡中村、原町、小高の三町にわたつて舉行されるが相馬、双葉郡在住舊相馬家の家臣及び縁故者は何れも馬具、甲冑、帶刀、騎馬の用意に忙殺されてゐる本年の出馬總数は中村神社四百八十騎、太田神社三百騎、小高神社二百五十騎計千五百騎例年にならぬ盛觀を呈する模様です。宮城縣白石から團體觀覽二百名を皮切りに仙台方面からも陸續と申し込みがあつた。

### 狼煙の合圖に

#### 行動を起す三社の兵兒

初日の十一日には午前八時の夜は各陣營前で盛んにかす昔から「野馬追を一度見合圖に中村町を中心にして近郷二は早朝から人馬とも身固はない」といひ傳へてゐるの騎馬武者が同社參道に集められ、二日目の十日には三日目の夜は小高神社で野馬追の儀があつた。合圖の指揮により各々隊相馬藩公名代堀内政藏氏の高神社で野馬追の儀があつた。形を編成午前十時更に

#### 混雜 名狀すべから

四方の廣き雲雀ヶ原も見物群集殺到その

「下社の神輿安置、軍者の指揮時列車を仕立てる、三日間は市内内行進、一路本陣原煙炸裂するや一條の御神旗を下らぬ見込みである。町新田河へ馬を進め、各は大空にひるがへり人馬聲をあげて疾驅する。傳来の家紋を染抜いた大旗を掲げ、指物をへばんと打ちなびか胃のふれる音、怒聲、罵聲、さしたる甲冑武者二騎、三騎、點綴物を競うて打ち合ふ。林間を縫うて疾驅集合の音、暫くして神旗を獲た。この光景たるや全く一ものは歡聲擧げて本陣山へ幅の繪巻物である午後三時長驅、九折の急坂を駆け登る。原町著名陣營(分割宿舍)にらんぞすれば、さはせせし屯營各自甲冑旗指物を營前とすれば、さはせせしと騎に陳列して家柄家系を誇り馬これを追跡味方するもの。それから何れも陣羽織の輕防ぐもの相亂れて打ち合ふ。装に着換へて夜の森下。様は元龜天正の昔をしのば常磐線富岡前の龜屋旅館は。宵乗 競馬を行ひよせるかくする事十數合二里 即ち分店である店主高野宏む騎馬武者人形をして地方

平氏の經營で旅館部は親切で美味であるこの定評殊に購買の辨當は安く美味で頗る好評である當に濱三郡の代表流車辨と稱するも當然である。

### 活版と石版は

#### 愛原印刷所

相馬郡原町愛原印刷所は平町で云ふなら山崎活版所格式で相馬、双葉の各町村役場及學校諸官所の印刷物に一手に引受け盛大なる印刷所である主人愛原氏は濃厚篤實で地方稀に見る人格者である。

### 浪江町

#### 料理 石澤屋

旅情を十二分に恵まれる。双葉郡浪江町石澤屋は石澤積次郎氏の經營になる旅館である、座敷の奇麗な寝具の清潔と客扱ひの親切等である、それに夕膳に新鮮美味の大蒲焼を付け

記者は茲に、相馬野馬追を特書大筆して、普く天下に紹介するは、現世が置い向は一人娘のさむらゝに、往古の祭事を顧みず徒らに、享樂の巻を巻かぬもの多き為め一の清涼々に記者は一度でも此の石澤屋に一夜の夢を結ばれし事を歡む。

### 野馬追に因む

騎馬武者人形。原町前町長佐藤政藤氏は郷士の誇り相馬野馬追にちな

最も賞讃に價える事は前の中村で新駒と申して、行技であつた、幾多のロマンスを残して悲しき榮轉の時、中村驛頭に追懐と共に左の一句なりす。

祝野馬追祭 原町長 志賀隆明 助役 門馬 貞	相馬農産學校長 佐藤弘毅	福電原町營業所 原の町 石川組製糸所 松乃友 醸造 福島縣相馬郡原町 酒松乃友 醸造	松本酒釀店 福島縣相馬郡原町 電話一五五 電器マツ	相馬郡高小神社 社主 相馬 胤良	丸山醫院 中村町 電話一三〇番	幾世橋橋醫院 中村町 電話一三〇番	幾世橋文九郎 中村町 電話二三七番	門馬醫院 中村町 電話五七番	黒木忠雄 木戸高等小學校長	大森興行所 原町 大森 作太郎 龍田高等小學校長	相馬郡農會 中村町 中村 字 田一	中村合同連 中村町 電話九番 一〇七番	送株式會社 中村町 電話九番 一〇七番	中村製糸所 中村町 電話二五番	浪江通運株式會社 浪江町 電話三三七番	小松龜太郎生そば 町原 藝妓屋組合 四倉町	和泉屋 電話七三番	酒山櫻舗 郡山市 山口哲三	御料理 仕出し 小名濱町	福島縣立 双葉中學校 原町 東京信用銀行原町支店 七十七銀行原町出張所 常磐銀行原町支店	原町銀行組合 原町 銀行	藤田榮 富岡高等小學校長	蛭田恭三 富岡町郵便局長	清信留之助 相馬郡小高高等小學校長	雙輪會商會 社 任主 山崎 新 電話二二六	原町商會 電話二二六	原町支店 電話二二六	原町 山崎長崎 電話二二七	山崎長崎 電話二二七	原町 山崎長崎 電話二二七	原町 山崎長崎 電話二二七
------------------------------	-----------------	---	------------------------------	---------------------	--------------------	----------------------	----------------------	-------------------	------------------	-----------------------------	----------------------	------------------------	------------------------	--------------------	------------------------	--------------------------	--------------	------------------	-----------------	---	-----------------	-----------------	-----------------	----------------------	--------------------------	---------------	---------------	---------------	------------	---------------	---------------

# 海へ！海へ！

## 波白く松青

豊間村海浴

豊間村港は、江名町の北部に位し平町より乗合自動車に便があり約四十分登陸。左の一句なりす。

# 山村醫院

外科・内臓外科・耳鼻咽喉科

小野新町 郵便局長 宗像 清

久保田醫院

郡山銀行組合  
江名町

中之作鐵工所  
吉田正雄

角屋  
電話一一番

盛館  
電話四番

外科・内臓外科・耳鼻咽喉科

山村醫院

馬場正孝氏
原町前町長佐藤政義氏は郷
土の誇り相馬野馬追にちな
常高小學校長
龜田學次
中村製糸所
浪江通運株式
和泉屋
電話七三番

海へ！海へ！

波白く松青

清涼の勝地

小名濱と四倉と豊間へ
『土用布子に寒帷子』今年面白い。新舞子の濱は昔で人の出るのは各濱中一番
は暑くなるのに時節が少ソズサイトとしてくれたらうことでは大敷網を見
し早いとは云ふものゝさろ地だ、毎年町では二、三ヶ所が出来るたまにはデ
砂は白く松の青い石城所に脱衣場を設け番人をおかカカカひつかる時あ
の海岸には寒暖計を見て海いて、救助船や夜間のリフるのだ。はぎれのいよどび
水浴に来る客があるので。レクシヨン、其他旅館や貸つきり新鮮なカツラのおさ
海水浴場附近の女將は勿論間の幹旋を親切にしてくれしみがいくらでも食べられ
の事女中も番頭も喜色が満る。

久の濱海水浴

久の濱から東へ五町旅
館は軒あつて一泊一圓二
十錢から二圓まで。

四ツ倉海水浴

四ツ倉より海へ近いの
が便利である、だん／＼よ
くつて来たし、海岸の景
色が素適に、十町ほど
本宮、二本松、須賀川の各
南へ行くと波立樂師があり
驛から二割引の往復切符發

夏の小名濱港

海の花柳界通信
錦波兄下御疎遠申しまし
た、陰鬱な梅雨期も明けて
半夏より土用入も数日後に
至らんとして居り候。

若竹

若竹の福助姐御平時
代の恩怨が身に沁みたるか
誤解會目下〇〇にて〇〇
病院に入院中であると、多
分クノサンが三サンの〇
でもあるでせうとの噂。

満壽屋

満壽屋の舟子君は
類る美音の持主濱の千鳥の
聲よりも美しくとの事、絃
も達者で一流妓である。

豊間村海水浴

豊間村港は、江名町の北部
に位し平町より乗合自動車
の便があり約四十分燈臺
で有名な豊間に至る事が出
来る。

濱屋旅館

濱屋旅館は遠藤惣助氏旅館である
第一位に申すも決して過賞
であるまい。

新米

新米の成子君あのだ
とした、容姿は仲々以て
演の兄貴連をチャームする
の靈腕あるとの異評果して
否である。

木田茂平氏

木田茂平氏久ノ濱町尋常高等小
學校校長木田茂平氏は性温厚
圓満の高潔な人格者である
將來は必ず縣視學の候補と
擬せらるゝ事は何人も認め
切に御自愛を乞ふて居る。

大和田安太郎

大和田安太郎四倉町議員
四倉町議員
四倉漁業組長

小湊宗吉

小湊宗吉浪江町新町
店主 新谷 芳雄
電話七番

長谷川長八

長谷川長八上遠野村
電話二番

大野元

大野元入遠野村
電話二番

菊地忠吾

菊地忠吾郡山市
電話三三五番

小口組山製糸所

小口組山製糸所郡山市
電話三三五番

小野新町

小野新町郵便局長 宗像清
電話九番

久保田醫院

久保田醫院郡山市
電話二七番

根本祐太郎

根本祐太郎郡山市
電話二七番

津野喜七

津野喜七郡山市
電話二七番

中村旅館

中村旅館郡山市
電話二七番

中村藝妓

中村藝妓郡山市
電話二七番

中村料理屋

中村料理屋郡山市
電話二七番

柳沼徳實

柳沼徳實浪江尋常高等小學校
電話二七番

浪江銀行組合

浪江銀行組合浪江町
電話二七番

濱屋旅館

濱屋旅館浪江町
電話二七番

郡山銀行組合

郡山銀行組合郡山市
電話二七番

中之作鐵工所

中之作鐵工所吉田正雄
電話二七番

小林醫院

小林醫院小名濱町
電話二七番

平町旅館組合

平町旅館組合平町
電話二七番

平町藝妓屋

平町藝妓屋平町
電話二七番

平町料理屋

平町料理屋平町
電話二七番

石城銀行組合

石城銀行組合浪江町
電話二七番

海氣館

海氣館浪江町
電話二七番

柏屋旅館

柏屋旅館浪江町
電話二七番

雀屋旅館

雀屋旅館浪江町
電話二七番

郡山銀行組合

郡山銀行組合郡山市
電話二七番

角屋

角屋郡山市
電話二七番

錦盛館

錦盛館郡山市
電話二七番

小田屋

小田屋郡山市
電話二七番

福田屋

福田屋郡山市
電話二七番

清野屋

清野屋郡山市
電話二七番

津村屋

津村屋郡山市
電話二七番

本屋

本屋浪江町
電話二七番

神瀧

神瀧浪江町
電話二七番

港屋旅館

港屋旅館浪江町
電話二七番

尾城

尾城郡山市
電話二七番

寫真館

寫真館小名濱町中島
電話二七番

# 暑中御伺

皆様吳服の御買出しには是非御來店下さり御待ちまして居ります

## 三井吳服店

平町 電話七五一三八番

湯本町 井坂千代松

消防組頭 坂本亀太郎

平町田町通り

## 神谷精米所

電話百六拾九番

### 夏物御案内

僅かの水で非常に冷える  
丸ほん冷蔵庫  
夏の衛生に 蚊帳、食卓覆  
必要な 鉢すだれ、鉢蓋  
眞夏にも涼味 藤製 實具類  
たつぷりな すだれ、カーテン  
可愛いお子様の運動と健康に  
小兒車各種  
夏の御座敷には 簾屏風、蓆盆、硝子盆  
ウチワ置ト掛、蚊帳釣手  
其ノ他各種

## 丸ほん

岩谷冷蔵庫 代理店 平町三丁目 電話三五九番

### 婦人小間物。内外化粧品 繪具雜貨卸商

平町本町通り三丁目

## 大黒屋久治商店

電話百拾六番 振替東八〇二四番

### 驚異的の效果

#### を有する婦人薬

産薬 美神丸  
内服薬 美神湯  
婦人病に悩む人々に  
一度の實驗を勤む

山野邊藥局  
平町五丁目角

### タクシーの

#### 御用命は新しい氣持のよい

### 昭和

### タクシー

電話三四三番

平町南町 青木寫眞館

電話四三二番

## 小名濱料理屋組合

- 安田や 電話一三番
- かめや 電話二二番
- いよくよ 電話三三番
- 福島や 電話四四番
- ちよし 電話五五番
- 小名の井 電話六六番
- 清のや 電話七七番
- 若葉 電話八八番
- 錦盛館 電話九九番
- 新米 電話一〇〇番
- 喜樂 電話一一一番
- 野州 電話一二二番
- 橋本 電話一三三番
- 津村 電話一四四番
- 福田 電話一五五番
- 角海老 電話一六六番

小名濱町

## 磐城座

和洋銅鐵金物問屋  
電話一七二番

## 釜屋商店

平町五丁目 電話九番一三九番

## 高久病院

醫學士 高久 忠清  
新潟醫學士 赤羽 雄  
藥劑士 佐竹 菊  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

## 割烹末廣

電話四二二番

平町一丁目

勉強て買いいい店  
是非御用命を

足袋仕立物 齋藤商店

メリヤス類 藤丸屋

酒銘 白菊釀造元

## 廣瀬支店

平町田町 電話五四番

松崎長三郎商店 電話一七二番

## 慰安會

### 會員募集

但會費金壹圓

書食辨當チ差上マス

餘興トシテ寶搜等チ致シマス

主催 福總新聞社 磐城大眾新聞社 磐城中正新聞社

### 氷水開業廣告

氷水を相れました、本年は左の如く値下げを断行しましたから多少に不拘御用命御引立の程を願上  
げます

同いん	同いん	同いん	同いん	同いん
同いん	同いん	同いん	同いん	同いん
同いん	同いん	同いん	同いん	同いん
同いん	同いん	同いん	同いん	同いん
同いん	同いん	同いん	同いん	同いん

御注文は電話三〇五番へ

出前速藤市